

授業づくりシートを活用した道徳科の授業改善

鶴居村立下幌呂小学校 学級数5 (校長 田中 敏行)

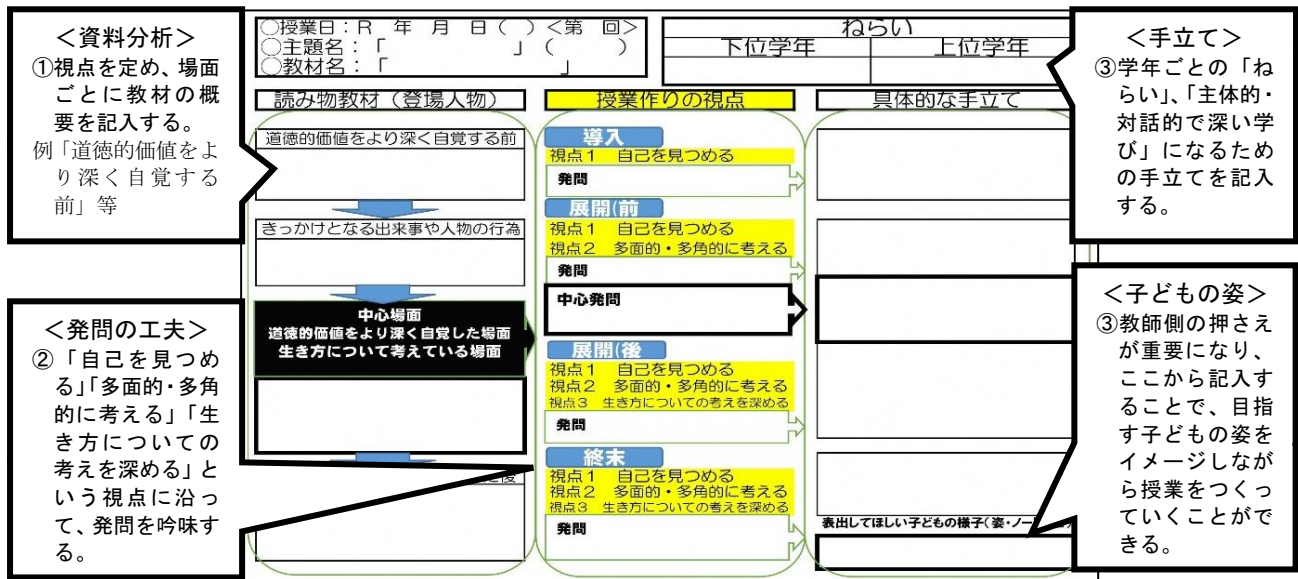
I 実践テーマの趣旨

本校は、今年度から北海道道徳教育推進事業の指定を受け、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた道徳科の授業づくりを視点に当て、「授業づくりシート」を活用し児童が多面的・多角的に考えるための発問や手立てを工夫すること、展開後半以降に、自己の生き方について深く考えられる場を設定することを中心に研究を推進してきた。

II 実践の概要

1 授業づくりシートを活用した授業改善

指導観（価値観・児童観・教材観）を明確にして指導に当たるため、毎時間本校独自の授業づくりシートを作成している。シートは左側に教材の場面ごとの分析(①)、中央に発問とその意図(②)、右側に手立てと表出してほしい子どもの姿(③)を明記し、道徳科の授業改善に活用している。



【授業づくりシート】

2 複式校における自己の生き方についての考えを深める場面の設定

展開を前半と後半に分けることにより、前半までは登場人物に自我関与しながら教材を中心に考えを深めていき、後半は、多面的・多角的に考えて自己の生き方について考えるようにしている。

本校は複式校であるため、複式指導を行っており、ねらいを学年ごとに設定し、発達段階に応じてねらいに迫るよう学年ごとに話し合いを行った。必要に応じて教師が学年を渡り、問い返したり、掘り下げたりする。また、学年ごとに話し合った内容を2学年で交流することで、考えを広げたり深い学びにつなげている。



【学年ごとに話し合い、考えを広げ・深めている様子】

III 成果(○)と課題(●)

- 年度始めと2学期に実施したアンケートを比較すると次の項目で肯定的な回答の割合が増えた。

(教師アンケート)
 ・「教材分析によって考えさせたい内容項目に合致させられるようになった」(+52%)、
 ・「発問・交流場面の工夫によって、多面的・多角的な考えを引き出すことができるようになった」(+50%)
 (児童アンケート)
 ・「生活の中で、道徳で学習したことを思い出す」(+3%)

- 全学級が毎時間授業づくりシートを活用して道徳科の授業づくりに取り組んだことにより、他学年の実践も参考にした道徳科の授業改善を図ることができた。
- 授業づくりシートは、教材に含まれる道徳的な問題の確認、主要な道徳的価値の抽出、問題の対立点の分析がしやすく、より一層ねらいに迫った授業ができるようになった。
- 児童の発達の段階にあった具体的な自己の生き方について考える場面を設定する必要がある。